

改憲阻止！戦争と民営化をとめよう！関西青年労働者集会報告

# 団結がためる集会とデモ勝ちとなる

台風の影響が心配されましたが、雨風のない絶

好の集会コンディションの中、大阪市西区の靉公園で、青年労働者集会を

六月一〇日に行い、百二十人が集まりました。

まず、大阪市職の赤田さんが基調報告に立ち「一つひとつの闘いはまだ小さくとも、その中に確実にゼネストを実現する道が見えてきています。戦争情勢と真正面から向き合って闘い勝利してきました。あらゆる拠点職場・地域から、改憲・戦争を阻止する闘いを開始

しよう」と訴えました。続いて、大阪市教組の

川原さんが沖縄闘争を報告。

各労組からの発言では、港合同昌一金属支部の大塚書記長が「ここ数年は賃金は満足に上がらず、

人員は減るばかりでした。執行部が軸となり、構内デモで闘い続け勝利しました」と報告しました。全日建運輸連帯労組関西西生コン支部青婦部の辻副部長が「昨年末のストライキでバラセメントのトン当たりの輸送運賃をアップさせるために闘い

大成功した。このストライキに敵対した広域協組

は、威力業務妨害、組織犯罪行為だとして、一〇億円の資金を投入して在

特会、右翼に金を渡し、脱退強要を履行した」と怒りをもって訴えました。

奈良市従の櫻井執行委員は「自分のこの間の闘いで、労働者の武器は団結だと確信した」と発言。日教組奈良市の青年は「市費教員の首切りに対して四〇日間にわたり、市教委交渉、総決起集会など、ストライキを展望する実力闘争として市庁



舎前座り込みを連続的に闘った」と報告しました。全国水平同盟の佃青年部長は「泉佐野選挙では、泉佐野の部落の地域に入り私たちの闘いを訴え、団結が固まった」と発言しました。

そして、関西合同労働組合恭誠社分会が、派遣

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



労働者として働く仲間の首切りを絶対に許さない闘いとして、五月三〇日にストライキを貫徹したことを報告しました。京都府職労舞鶴支部の中西書記長が、新規採用された公務員の解雇撤回の闘いを報告しました。

まとめを八尾北医療セ

ンター労働組合の西脇副委員長が行い、「絶対反対の旗が立っているからこそ、団結が広がった。昨年について挑戦する八尾北夏祭りは、この社会を根本から変える地域ソビエトの役割を果たしていくと確信しています。今日の集会を出発点にして改憲・戦争阻止！大行進をつくり出していきましよう」と締めくくりました。

集会后は、難波まで大阪市内を縦断する御堂筋デモです。たくさんの方の注目を浴び大成功でした。

昌一金属支部 K

## 非核 平和行進

■7月26日(木)15時～

■磯路中央公園

■集会后、みなと通を天保山公園までデモ行進。

暑い中での行動となります。

参加される方は熱中症など十分気を付けてください。

## 第18回大空襲の体験を語る集い

■主催：

特定非営利活動法人NPOみなと

■7月28日(土)12:30～開場  
13:30～開会

■田中機械ホール

■講演：矢野 宏氏

(「新聞うずみ火」代表)

伊賀孝子氏

(大阪戦災傷患者・遺族の会代表)

■その他、大阪大空襲の貴重な資料など出展多数。入場無料。